

今年のイベントのお知らせ

**ユニセフパネル展
カレンダー募金**

「ユニセフってなあに」展示と
カレンダー募金を開催します！

とき
2月16日(月)～19日(木)
ところ

○クロスステラス盛岡(盛岡駅側エントランス)
※カレンダー募金は初日と最終日10～15時のみ



ユニセフ・ラブウォークinいわて
健康づくりと募金活動を組み合わせた
イベント。参加費が募金です。

とき／5月10日(日)
ところ／盛岡城跡公園 スタート・ゴール



「グッド・ライ～いちばん優しい嘘」

スーダンの内戦で難民となり、アメリカ各地に移住したスーダンの若者たちの実話にもとづく作品

7月18日(土) 盛岡市／7月20日(月) 花巻市

ユニセフ出前講座

世界の子どもの状況やユニセフの支援について、映像や資料を使い、体験コーナーもまじえてお話しします。時間・内容・対象などは相談しながら対応します。国際理解の場としてご利用ください。呼んでくださる学校・団体をお待ちしています！



▲金ケ崎町立永岡小学校 ～水がめ運び体験～



▲いわて生協花巻コープ ～マラリア予防の蚊帳体験～

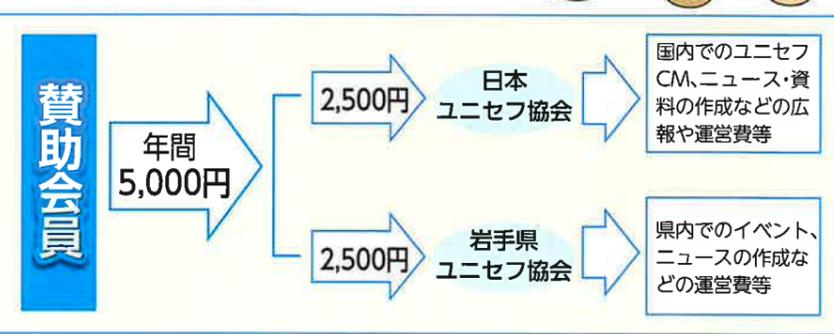


▲盛岡市立上田小学校 ～DVD視聴～

賛助会員は、ユニセフ応援団！

～会員になって
支えてください～

年間5,000円～会費を納めていただいている皆さまのことを「賛助会員」と言います。そのうちの半分を「日本ユニセフ協会」の経費、残りの半分を「岩手県ユニセフ協会」の経費として使わせていただいています。会費は、世界の子どもたちへの募金ではなく、テレビなどで視聴する「ユニセフ活動のCM」や「ユニセフニュース」を作成する広報活動、資料の作成、イベント等の啓発活動、そのための人件費等になります。皆さまからの会費がなければ、このような活動ができなくなりますので、賛助会員の皆さまは心強い応援団です。応援団になって支えてくださる方を大募集しています！（賛助会費は寄付金控除の対象です）



●申込書をご希望の方には郵送いたします。

お申し込み・お問い合わせは、岩手県ユニセフ協会まで

TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
E-mail sn.iunicef_iwate@todock.coop

〒020-0690
岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.coop
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/



2026年の支援計画

ユニセフは、2026年には2億人以上の子どもたちが人道支援を必要とするだろうと警鐘を鳴らしています。多くの子どもたちは長期化する危機の中で暮らしており、世代全体が栄養不足のリスクに陥り、教育の機会を失い、疾病の集団感染にさらされ、安全と安定を奪われています。こうした課題の中、ユニセフは、活動の指針である「子どもの権利」およびユニセフの「人道支援活動における必須項目」を堅持し人道支援活動を行っています。具体的には以下のとおりです。

- 命を守る活動のうち最も効果的なものを優先すること
- 各国政府や現地関係者との連携を強化すること
- 備え、リスク分析、先を見据えた行動へ投資すること
- 国家システムのレジリエンスを構築し人道外交を強化すること

ユニセフは各国政府、公的セクターのドナー、民間セクターのパートナーに対し、子どもへの資金提供を拡大するよう、強く呼び掛けています。その際、(支援先の国や分野を指定しない)柔軟で、複数年にわたる資金提供を優先し、地域主導の対応と国内のシステムを支援し、人道原則と子どもの保護を最優先に据え、さらに人道支援へのアクセスを妨げる障壁を取り除くことを求めています。困難な状況にある子どもたちが、生まれ持った権利を守られ、平和に健やかに成長できることを目指して活動するユニセフにご支援によって支えられています。これからもユニセフを通じ、世界の子どもたちへご支援をお願いします。

危機下の子どもたち

子どもたちのための人道支援2026

2026年、ユニセフは、133の国と地域で、2億人以上の子どもたちが人道的支援を必要とするかと推定しています。



ウクライナ

ウクライナで続く戦争は、壊滅的な状況のまま5年目に入ろうとしている。2025年4月以降、攻撃は一層激化し、重要なインフラの破壊が続いており、子どもたちの命を危険にさらし、不可欠な社会サービスを混乱させ、メンタルヘルスにも深刻な影響を与えている。2026年には、推定1,080万人が人道的支援を必要とし、その中には220万人の子どもと380万人の国内避難民が含まれる。紛争による破壊と避難は、基本的サービスへのアクセスを損ない、保護やジェンダーに基づく暴力のリスクを高めている。占領地域にいる子どもたちは、人道支援をほとんど受けられない状況にある。



シリア

14年にわたる紛争の後、シリアの子どもたちは依然として深刻な脆弱性に直面している。2024年末の政権交代により、歴史的な変革の機会が訪れ、子どもや若者に新たな希望をもたらしている。この機会を生かし、国の復興と再建を支援することが不可欠である。進展はあるものの、シリアは依然として世界で最も複雑な人道危機に直面しており、大規模な飢饉、経済の悪化、気候ショック、損壊したインフラによりニーズは増大している。国内避難民190万人以上と難民110万人、合わせて300万人（うち170万人が子ども）が帰還した地域は、基本的サービスへのアクセスが限られている。



ハイチ

ハイチの人々は、武力紛争の激化、大規模な避難、生活に不可欠な社会サービスの崩壊、水系統感染症の再流行、栄養不良の広がり、繰り返される気候ショックや自然災害が重なった最悪の状況に直面している。武装集団は首都ポルトープランスの約9割を支配しており、国連は2024年に武装集団による子どもたちの取引・利用の事例を300件以上確認した。これは2023年のほぼ2倍にあたる。暴力は北部にも広がっており、商用や人道支援のルートが遮断されている。推定140万人が避難しており、その中には74万1,000人以上の子どもが含まれる。さらに、2026年半ばまでに約570万人が深刻な食料不安(PCFアース3以上)に陥る可能性がある。



コンゴ民主共和国

コンゴ民主共和国では、東部の紛争の激化、大規模な避難民の発生、繰り返される保険上の緊急事態、アクセスの制約、保護リスクの増大、深刻な食料不安、気候ショックが重なり、長期的な複合危機に直面している。重大な人権侵害が横行し、性暴力の残虐性が悪化している。(2025年年初に報告された約17万の事例のうち、子どもが40%以上を占めている。) 東部では約1,200校が廃墟となるか避難所に転用され、160万人の子どもが学校に通えず、搾取や虐待、徴用の危険にさらされている。



スーダン

スーダンは、世界で最も深刻な人道危機に直面している。3,370万人が命を守るための緊急支援を必要としており、そのうち1,730万人は子どもである。紛争により950万人が避難を余儀なくされ、不可欠なサービスは崩壊し、2,100万人以上が深刻な食料不安に直面している。ダルフールやコルドファン地域の一部は飢餓状態にあり、即時の人道アクセスと大規模な他分野連携が不可欠である。紛争が始まってほぼ3年、子どもたちは紛争、避難、疾病、飢餓という複合危機に陥っている。重なり合う脅威に対して、緊急かつ包括的、子どもを中心に据えた対応が必要とされている。



パレスチナ

ガザ地区での紛争と、東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区での暴力の激化により、多数の死傷者、避難民、子どもたちに対する深刻な保護リスクが生じている。少なくとも330万人が支援を必要としている。最新の「総合的食料安全指標(IPC)」の分析によると、2025年9月時点でガザ地区全域が飢餓状態に陥り、生後6～59カ月の子ども10万人と、妊娠中または授乳中の女性3万7,000人が消滅的治療を必要としている。ユニセフは保健を歓迎しているが、人道支援関係者が対応を拡大し、ガザの子どもたちが切実に必要とするシリアの復旧に取り組み機会が不可欠である。ヨルダン川西岸地区では、東エルサレムを含め、80万人以上が医療と水・衛生の支援を、15万人以上の子どもが教育へのアクセスを必要としている。



バングラデシュ

バングラデシュでは、ロヒンギャ難民をめぐる人道危機が長期化しており、解決の見通しは立っていない。さらに、ミャンマーで続く紛争と不安定な情勢により、新たな難民がバングラデシュに流入しているため、人道的ニーズが深刻化し、受け入れコミュニティへの負担が増大している。ミャンマーの治安が不安定で、安全で自発的な帰還が困難であることから、2017年以降、難民人口は115万6,000人に増加し、その半数以上が子どもである。ロヒンギャ支援への資金削減で、子ども向けサービスは大幅に縮小され、困難な選択と運営上の変更を余儀なくされている。



ミャンマー

ミャンマーの人々の生活は、紛争と避難によって引き起こされた人道危機に、自然災害、経済不安、生活に不可欠な社会サービスの崩壊が重なり、悪化の一途をたどっている。こうした複合的な原因により、人々の生活と生計は破壊され、360万人近く（その3分の1以上が子ども）が国内避難を余儀なくされ、家や学校、地域社会から追われている。2025年3月28日に発生したマグニチュード7.7の壊滅的な地震と、その後の235回以上の余震は、すでに限界に達していた対応能力にさらなる負担をかけ、より多くの家族を極度の脆弱な状況に追い込んでいる。

ユニセフ募金にご協力をお願いします

下記の口座については窓口の場合、
硬貨手数料・振込手数料ともにかかりません

《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座
振替口座：00190-5-31000
口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

振込用紙をご希望の方は、
岩手県ユニセフ協会へご連絡ください。

TEL 019-687-4460 月～木
10:00～15:00

岩手県ユニセフ協会設立25周年 感謝のごあいさつ



岩手県ユニセフ協会
会長 守谷 祐志

日頃より、世界の子どもたちのために活動するユニセフ(国際連合児童基金)へご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

岩手県ユニセフ協会は、2001年12月8日、「(財)日本ユニセフ協会岩手県支部」として設立され、それ以前から活動を始めていた花巻友の会と手を携えスタートしました。2011年4月には、「岩手県ユニセフ協会」と名称を変更して、公益財団法人日本ユニセフ協会の協定地域組織として活動を継続し現在に至ります。2011年3月に発生した東日本大震災の時には、ユニセフが50年ぶりに日本の子どもたちへの支援を表明し、県ユニセフ協会は地元組織として支援活動に取り組みました。これまでの活動は、ボランティアメンバーを中心に県内のみならずご支援ご協力をいただきながら、出前講座、ラブ・ウォーク、パネル展、シアター、ハンドインハンド募金など多種多様に行なうことができました。

県協会の設立当初から役員として携わり、2年前に会長を仰せつかりました私は、ユニセフには思い入れがありました。それは昭和30年代、私が小学生の頃、ユニセフの脱脂粉乳の支援があり、子ども心に胸を打たれた思い出です。数年前までは敵国同士だった国のみなさんの暖かいご支援に感銘を受け、「これが人道だ!」「これがユニセフ精神だ!」と思ったものでした。この思いが原点となり、今も変わらず続いています。

現在の地球上には、「飢餓」に苦しむ子どもたちがたくさんいます。今しか救えない命があります。力を合わせれば守れる幼い命がたくさんあります。どうかみなさんのお力をユニセフにお貸しください。

設立25周年を迎え、これからも岩手県ユニセフ協会は微力ながらも世界の子どもたちのために歩みを進めます。今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

ユニセフ 第47回 ハンド・イン・ハンド募金 Hand in Hand

盛岡市、花巻市、二戸市の9会場で「すべての子どもに生きる希望を!」をテーマにハンド・イン・ハンド募金を行ないました。雪のちらつく寒い中、大きな声で募金を呼びかけました。

2025年 **12月13日(土)** 花巻市
・アルテマルカン桜台店 ・ビブレ花巻店
・シーナシーナ花巻 ・コープ花巻あうる
中高生ボランティア64名 大人19名
募金額 142,298円



2025年 **12月14日(日)** 盛岡市
・クロステラス盛岡 ・mossビル・モナカ ・イオンモール盛岡南
中高生ボランティア35名 大人14名 **募金額 33,214円**



2025年 **12月20日(土)** 二戸市
ユニバース荷渡店
はなまるこ〜ぷ委員会 親子12名 **募金額 27,373円**

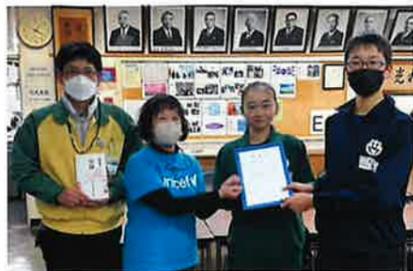


参加者の感想

- CMなどで知っていたユニセフ募金に協力できて嬉しかった。
- 食べる物に困る子どもたちがいる中、お店でおいしいものが買える子どもたちを見ると心が苦しくなります。
- 次はもっとユニセフのことを調べてから参加したい。
- 雪のせいもあってか足を止める人が少なくて寂しい気持ちもあったが、その分募金をしてくれる優しさが身に染みた。

2025年 募金贈呈

学校や団体で取り組んだユニセフ募金の贈呈式をご紹介します。このほかにも多くの学校が募金に協力しています。募金を募るほかに、ペットボトルキャップ集め、カレンダーの販売、バザーと多様に取り組まれました。



▲1月28日 奥州市立水沢南中学校



▲2月16日 盛岡レオクラブ



▲3月5日 金ヶ崎町立永岡小学校



▲7月17日 花巻市立八重畑小学校



▲12月17日 北上市立飯豊小学校



▲12月3日 北上市立鬼柳小学校

■ユニセフへバザー収益金
金 大谷幼稚園・花巻市愛宕町の大谷幼稚園(松本弘子園長、園児103人)は16日、世界の恵まれない子どもたちのために役立ててもらおうと、県ユニセフ協会花巻友の会(佐藤敦士会長)に5000円を寄付した。写真真上。

寄付金は、同園が11月に開催したバザーの収益の一部。同会を通じて日本ユニセフ協会に送られる。



▲岩手日日新聞 12月18日

フレンドネーション スマホやパソコンから協力できる募金

ハンドインハンドinいわて2025



岩手県ユニセフ協会
達成金額 29,500円
目標金額 50,000円
達成率 59%
リポーター 7人
終了 2025/12/31

岩手県ユニセフ協会さんのようにあなたも募金ページを立ち上げてみませんか?
募金ページを立ち上げる

ボランティア参加校

- 盛岡白百合学園高等学校
- 南昌みらい高等学校
- 盛岡中央高校
- 盛岡第三高等学校
- 花巻農業高等学校
- 花巻南高等学校
- 花北青雲高等学校
- 花巻北中学校
- 南城中学校



ボランティア144名(大人42名 小中高生102名) **募金合計 232,385円**
会場の提供、ボランティア参加のご協力をいただいたみなさま ありがとうございます!!